

平成 24 年 1 月 4 日

年 始 挨 拶

北口 治

新年明けましておめでとうございます。

皆さんは年末年始の休みはどのように過ごしましたか？私は家族で奈良の田舎に帰っていました。例年よりは過ごしやすい天候でしたが、二日の午後には珍しく霰（あられ）がパラパラと音を立てて降りました。

冒頭に「明けましておめでとう」と言いましたが、今年ほどこの言葉が胸に響く年はありません。昨年は本当に色々なことがありました。東日本大震災や福島原発事故、そしてタイの洪水災害は、世界中の人々に驚きと悲しみを与えました。自然の力の大きさや現在の化学技術では抑止困難な原子力の怖さを、あらためて思い知ることになりました。経済的には中国が日本を抜いて GDP 世界第二位の経済大国となり、ヨーロッパではユーロ危機が深刻化して欧州各国に波及しました。また円相場は戦後最高値を記録して、企業業績に多大な影響を与えました。その中で、ワールドカップでの「なでしこジャパン」の優勝は日本の国民に感動と勇気を与えました。またスーパーコンピューター「京（けい）」の演算速度世界一は日本の技術力の高さをあらためてアピールしました。

昨年の年頭挨拶で、昨年の干支（かんし）の「辛卯（かのとう）」は「新陳代謝により新たな発展に向かう」という意味だと言いました。その新陳代謝はあまりにも激しく辛いものとなりましたが、これは幾多の悲しみや困難を克服して再び新たな発展に向かう道であると信じたいと思います。そして続く今年の干支は「壬辰（みずのえたつ、じんしん）」であり、「従来の社会の仕組みを変える」という意味を持っています。飛鳥時代の「壬申の乱」はこの干支の時に起きた事件です。ドラッカーは、「現在は数百年に一度訪れる変革期であり、ポスト資本主義社会を目指して数十年かけて移行する転換期である、それは 2010 年ないし 2020 年まで続く」と過去に予測しています。その考えにもとづけば、今我々は大転換期の最終仕上げ段階に臨んでおり、生みの苦しみの真只中にいるということです。それはとりもなおさず、もう間もなく新しい時代がやって来るということです。

この変革期において、NPC は 2010 年度に旧工業材料事業部から樹脂ビジネスの移管を受けてその定着に努めてきました。そして 2011 年度に製品推進部門を設立して、「川上の樹脂ビジネス」「川中の包材ビジネス」「川下の加工品ビジネス」というビジネスの基本骨格を整えました。今年度は、現中期計画「Change11」で求めてきた「質の変革」をさらにスピードアップして、新中期計画「Change S2014」をスタートさせます。

ビジネスは常に「先ず新しく獲得して、次に伸長し、やがて衰退して、終了する」という「ON・UP・DOWN・OFF」のサイクルを描きます。プラスチックビジネスにおいても、汎用プラスチックからエンジニアプラスチック、エンジニアプラスチックから超エンプラへと、ゆっくりとした速度ではありますが、新市場が着実に拡大しています。そのため会社の維持・発展のためには、常に「ON」ビジネスの獲得が必須であり、新市場の開拓が必要です。「ON」ビジネスや「超エンプラ」ビジネスの獲得のために、エンドユーザーの真のニーズを的確に把握して適切に対応する「マーケティング活動」や、新しい用途の提案や新しいニーズを創出する「イノベーション活動」を全員で促進したいと考えます。一方、それらの新展開を進めるためにも管理面の強化が必要であり、与信管理やコンプライアンスをはじめリスクマネジメントの徹底や内部統制の活用を進め、引き続き「誠実に正道を歩む体制」を強化したいと思います。

NPC は「世界一のプラスチック専門商社」を目指しています。それは傍々（はたはた）を楽にさせ顧客を満足させる「はたらく」と、お客さんや仕入先を飽きさせない創意工夫の「あきない」が世界一の会社です。そして顧客や人の喜びを自分の喜びとし、その喜びが職場に満ち溢れた「The Joyous Work」の実現を目指します。

変動期の真只中、今年も色々なことがあるかも知れませんが、自然の理と会社理念に沿って一つ一つ冷静に対応して、皆で力を合わせて乗り越えて行きましょう。

2012 年の仕事が今日から始まりますが、皆さんにとって良い年になることをお祈りして年頭の挨拶としたいと思います。

以上